

宝くじ助成事業活用 新吉町子供神輿を60年ぶりに修復



新吉町行政区で、宝くじの助成をうけて子供神輿が修復され、完成を祝う祝賀式典が開催されました。

今までの神輿は、昭和34年4月に新調され、約60年経っていることから、老朽化が著しく、今回宝くじの助成金と地区負担金を併せて修復しました。

式典は、橋本町長、半村県議会議員、倉持議長などを来賓に迎え、新吉町の皆さんなど多くの方が参加し、盛大に開催され、境香取神社宮司による御霊入れが行われた後、新吉町の子もたちによる担ぎ初めが行われました。

子どもたちは新しいお神輿を元気に引きながら、町内を練り歩きました。



祝賀会に参加した皆さんで記念写真

※宝くじ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されている事業です。



子どもたちによる担ぎ初め



境香取神社宮司による御霊入れ



↑子どもたちの太鼓に合わせて、子供神輿が町内を練り歩きます ←子どもたちからは、「ピカピカになってうれしい!」「前は引くにも重くて大変で、溝にハマって出られなくなることも多かった。大きなタイヤになって、引くのが楽しかった」との声が上がりました



新吉町 橋本保喜一 区長

子供神輿の修復は、役員をはじめ、地域住民みんなの悲願でした。子どもの頃に実際に担いだ神輿で、愛着のあるこの神輿が、きれいに修復され、うれしい限りです。子どもたちにも祭りに親んでもらい、立派な大人になってほしいです。

子育て中のパパ・ママ向け短期講座 親子スキンシップ講座を開催

子育てをしているパパとママがベビーヨガやベビーマッサージ、手足型アートを通して、子どもと楽しく触れ合い、スキンシップをとることを目的とした、中央公民館の短期講座「親子スキンシップ講座」(講師:土屋美月)が開催されました。1月~3月の期間に5回の講座を開催し、合計30組の親子が参加し、お子さんとのスキンシップを楽しみました。



赤ちゃんも興味津々! パラパラ



パパとベビーのスキンシップ!



オイルを使ったベビーマッサージ

芸術性の高い作品が並ぶ年に1度の 作品展「生涯学習フェスティバル」

ふれあいの里において、各種講座や自主グループのみなさんが1年間の学習成果を発表する「第25回境町生涯学習フェスティバル」の作品展が開かれました。書道や生花、着付け、絵手紙、手芸など、31グループ375人による作品が展示され、多くの来場者が様々な作品を鑑賞しました。



心を打つ「絵手紙」



伝統芸術「生け花」



竹の深みを表現する「竹工画」



様々な作品を鑑賞する来場者

100歳おめでとう! 青木けいさんに褒状

上町に住む青木けいさんが、2月17日に100歳の誕生日を迎えられました。大正8年生まれで、お子さんと旅行へ行かれたり、近所の友人宅を訪れたり、活発で外交的な性格。お刺身やお肉、ビールに日本酒、何でも好き嫌いなく召し上がり、大好物はうなぎだそうです。長生きの秘訣を伺ったところ、「思ったことははっきり伝えて、ストレスを溜めない。友達とおしゃべりが楽しい」ということでした。耳の聞こえもよく会話も弾みます。

27日には、橋本町長が自宅を訪問し、町から褒状と記念品を贈呈しました。青木さんの今後益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



100歳を迎えた青木けいさん(左から2人目)



笑顔でお話する青木けいさん

国民健康保険事業の発展に寄与 石川昌利さん、相良好子さんに感謝状

境町国民健康保険運営協議会委員として、国民健康保険事業の発展に寄与された功績により、石川昌利さん並びに相良好子さんに、町から感謝状が贈られました。石川さんは16年間、相良さんは18年の長きにわたり、委員を務められました。



橋本町長から感謝状を授与される石川さん(左)



橋本町長から感謝状を授与される相良さん(写真中央)

境町消防春季点検式を挙行 猿島小6年生2名を一日点検官に任命

JA茨城むつみ本店駐車場において、平成31年境町消防春季点検式が挙行されました。この点検式は、消防防災活動に従事する境町消防団(加藤正則団長)の士気を高め、常に迅速で適確な活動が行えるよう人員・姿勢・服装と機械器具を橋本町長が点検を行い、日頃の訓練成果を来賓の方々に披露するものです。今年、猿島小学校6年生の根本陸さん、木村有那さんが一日点検官を務め、おおぞら保育園の園児たちが太鼓を披露しました。終了後、永年勤続をはじめとした表彰式を行いました。



人員、姿勢、服装、機械器具の点検等を実施



(左から)橋本町長、根本さん、木村さん、おおぞら保育園によるアトラクション披露